

農業・農村では高齢化等による担い手対策が急務となっている一方で、障害者の就労機会や工賃の向上が課題となっていることから、全国で農業と福祉の連携が推進されています。

宮城県においては、「みやぎ型農福連携普及拡大事業」を実施しており、県の農福連携の現状を踏まえ、普及啓発活動とマッチング支援に取り組んでおります。農福連携を広め、実践するための情報提供を中心としたフォーラムを開催します。

開催内容

[日時] 2021年1月18日(月) 13:30~16:30 (開場13:15)

[会場] TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口 ホール6C
(仙台市青葉区花京院1-2-15 ソラプラザ 6F)

[対象] 農業者, 農業法人, 福祉施設関係者, 障害者就労支援団体, 行政機関等

[人数] 50名(先着順)

裏面の申込書に記載のうえ、FAX、メール、電話のいずれかでお申込みください。

申込期限: 1月12日(火)まで

[主催] 宮城県

第1部

農福連携事例1: 「野菜工場と障害者福祉の融合」

NPOソーシャルハウス 理事長 瀧澤 啓氏

<プロフィール>

2004年に群馬県高崎市の(株)成電工業の代表取締役役に就任。2010年から同社にて人工光型野菜栽培装置の研究開発を開始。2012年に野菜栽培装置「Social Kitchenシリーズ」の販売を開始。2014年に群馬県高崎市にNPO法人「ソーシャルハウス」を設立、翌年2015年から野菜の生産販売と障害者の就労支援を融合させた福祉サービスの提供を開始する。その後、野菜の生産量も当初の日産50株から、現在日産300株にまで拡大、利用者の契約人数も現在29人まで拡大した。来年2021年4月に群馬県藤岡市にて同様の野菜工場+福祉事業所を新たに開設することを計画して現在準備中。

農福連携事例2: 「農福商連携展開によりネギ生産15ha」

アルファイノベーション株式会社 代表取締役 山田浩太氏

<プロフィール>

1996年 京セラ(株)に入社。2001年(株)船井総合研究所に入社。農業・食品リサイクル分野のコンサルティング、企業の農業参入コンサルティングにチームリーダーとして従事。2012年 アルファイノベーション(株)(農業生産、青果卸、農業・福祉コンサルティング)を設立。「あまった食べ物」が農業を救う(PHPサイエンス・ワールド新書)を出版。2013年 特定非営利活動法人 めぐみの里(障がい者就労継続支援施設)を設立。現在、農福商連携事業として15haのネギ生産を行うとともに、農業および障がい福祉分野のコンサルティングを行っている。

第2部 相談会

宮城県農政部農業振興課

みやぎ型農福連携普及拡大事業 農福連携専門家

みやぎ型農福連携普及拡大事業 受託者 (株)東京商工リサーチ 東北支社

※各ブースを設置しております。

Webでの相談会も受付しておりますが、事前申し込みが必要となります。【Web相談会申込〆切: 1月12日(火)】

問い合わせ先

(株)東京商工リサーチ東北支社 担当: 横尾、阿部 TEL: 022-262-3811 FAX: 022-266-6274
E-mail: tohoku.br@tsr-net.co.jp (このフォーラムは、宮城県の委託事業により実施するものです。)